

科 目 名	心理学実験演習Ⅱ					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	利 光 恵						
開 講 年 次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	前期の心理学実験演習Ⅰを踏まえて、実験の計画と実施、研究論文・レポートの書き方、実験を行うに当たっての留意点についてさらに詳細な解説を行う。その後、与えられた実験テーマに沿って実験を行い、データの整理、レポート作成、発表と討論までの1つのサイクルとして進め、心理学の実験的研究法を理解する。						
授 業 の 到 達 目 標	1. 実験デザインの作り方を理解する。 2. 実験者としての態度を習得する。 3. レポートを自分で作成する（特に結果から考察を導き出すことを学ぶ）。 4. ペアと協力して考える力を修得できる。 5. 一緒に実験課題を実践するための計画を立てることができる。 6. データから考察を導く文章力を高める。 7. 問題意識を持って実験に取り組むことができる。 8. 各実験ごとの目的について、主体的に考える。 9. 実験方法の問題点を指摘できる。 10. 心理学実験における倫理性を高める。						
学 習 方 法	心理学に関する実験を行う。						
テキスト及 び参考書等	前期開講の心理学実験演習Ⅰで用いたテキスト「教材心理学」を引き続き使用する。関係参考書は適時指示する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎		◎			80
授業態度	○	○	◎				20
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション						
第 2 週	鏡像描写実験（実験の目的・方法の説明）						
第 3 週	鏡像描写実験（本実験）						
第 4 週	鏡像描写実験（結果の整理・レポートの書き方）						
第 5 週	語の記銘実験（実験の目的・方法の説明）						
第 6 週	語の記銘実験（本実験）						
第 7 週	語の記銘実験（結果の整理・レポートの書き方）						
第 8 週	知覚の恒常性実験（実験の目的・方法の説明）						
第 9 週	知覚の恒常性実験（本実験）						
第 10 週	知覚の恒常性実験（結果の整理・レポートの書き方）						
第 11 週	パーソナルスペース実験（実験の目的・方法の説明）						
第 12 週	パーソナルスペース実験（本実験）						
第 13 週	パーソナルスペース実験（結果の整理・レポートの書き方）						
第 14 週	知覚の同時処理（マガーク効果）実験（実験の目的・方法の説明）						
第 15 週	知覚の同時処理（マガーク効果）実験（本実験）						
第 16 週	知覚の同時処理（マガーク効果）実験（結果の整理・レポートの書き方）						
備 考	事前事後学習については授業ごとに指示を行う。						